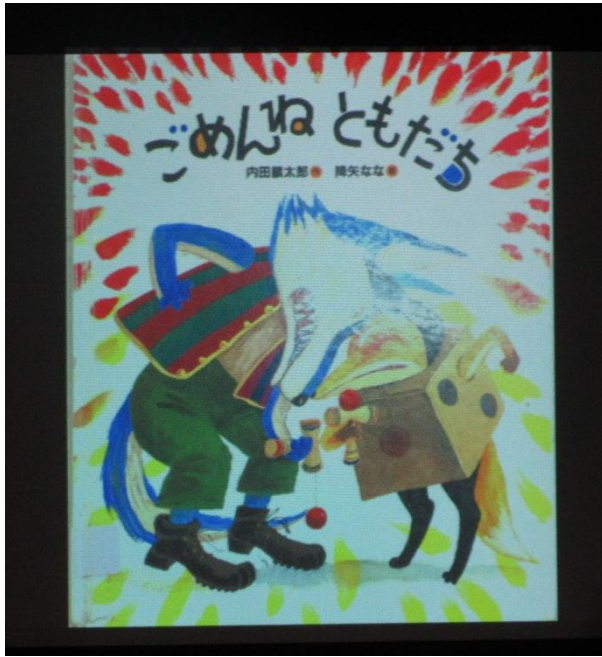




5 歳児全員で、『ごめんね ともだち』のお話を見ました。友達と一緒に遊ぶ中で、つい言い過ぎてしまったり、思ってもいないことを口にしてしまったり、、自分に置き換えて考えられるようなお話です。

オオカミは、なかなか「ごめんね」が言えず、時間だけがどんどん過ぎていきます。素直に話せないもどかしさや、そのあと仲直りができたことの嬉しさなど登場するオオカミとキツネの思いを考えました。

「友達とケンカした時って、どんな気持ち？」「悲しくなったり、寂しく感じたりするのは何で？」など、登場人物と絡めながら、自分たちならどう感じるかをみんなで話していきました。

「がっくりする」「会えないから寂しい」など、改めて気持ちを言葉にしていく姿がありました。



『友達も大切』というところから、『自分も大切に思われている』ということへ繋がり、おうちの方からのメッセージを読ませていただきました。自分のメッセージが読まれると、とても嬉しそうにはにかんだり、手を挙げたりしていましたよ。友達のメッセージに拍手をするなどして、温かい雰囲気の中で行うことができました。

行事の後、プールに入り、友達と一緒に触れ合い遊びもしました。『なべなべそこぬけ』を、2 クラスで楽しみました。

